

お知らせ

米空母艦載機による 航空機騒音の解消等を要請

市は、神奈川県及び厚木基地周辺市とともに、11月11日～13日に内閣総理大臣、駐日米国大使、在日米海軍司令官らに対し、米空母艦載機による航空機騒音の解消等を要請しました。

☎企画政策課 ☎724・2103

町田市の環境の状況を報告します 環境白書 2020

市の環境基本計画である第二次町田市環境マスタープランに示した環境施策の進捗状況や目標達成状況を点検・評価するとともに、環境の現状や動向を広く市民の皆さんに公表するため、「町田市環境白書2020」を作成しました。

環境白書は、環境の状況及び施策の実施状況を明らかにした「活動報告」と、市の環境の現状に関するデータをまとめた「データ集」の2分冊になっています。

「活動報告」は市政情報課（市庁舎

1階）、各市民センター等で配布、「データ集」は、市政情報課で販売しています（1冊300円）。また、両冊とも町田市ホームページでダウンロードもできます。

☎環境政策課 ☎724・4386

とりまとめました 芹ヶ谷公園“芸術の杜” DESIGN BOOK

芹ヶ谷公園では、「パークミュージアム」という新たなコンセプトをきっかけ、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園を目指しています。

この「パークミュージアム」の実現に向けた整備計画「DESIGN BOOK」をとりまとめました。

詳細は町田市ホームページをご覧ください。

☎企画政策課 ☎724・2103

社会資本整備総合交付金事業「南町田駅周辺地区」事後評価原案 ご意見を募集します

市では、南町田駅周辺地区（南町田グランベリーパーク駅周辺）において、国土交通省の「社会資本整備総合

交付金」を活用し、社会資本総合整備計画・都市再生整備計画に基づく事業を推進してきました。

社会資本整備総合交付金は、一定期間を経過するごとに取り組みの成果を評価し、目標の達成状況等の確認を行うこととされています。本地区において、2019年度までに完了した都市再生整備計画事業に関する事後評価を実施し、評価原案を取りまとめましたので、市民の皆さんからご意見を募集します。

*評価原案は、都市政策課（市庁舎8階）及び町田市ホームページでご覧いただけます。

☎12月21日～1月12日（必着）に直接、郵送、FAXまたはEメールで都市政策課（市庁舎8階、〒194-8520、

森野2-2-22、☎050・3161・5502、✉mcity4800@city.machida.tokyo.jp）へ。

【注意事項】

○書式は自由ですが住所・氏名・連絡先・件名を明記してください。

○電話や窓口での口頭によるご意見はお受けできません。

○ご意見に対する個別回答は行いません。

○公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします。

○寄せられたご意見は、学識経験者等で構成する「町田市南町田駅周辺地区都市再生整備計画事業評価委員会」（2月開催予定）で報告します。

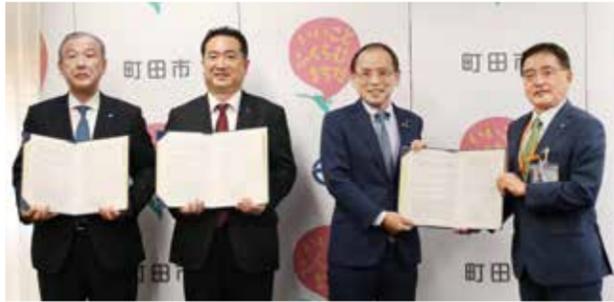
☎都市政策課 ☎724・4248

「健康づくりに向けた包括的連携に関する協定」を締結

☎健康推進課 ☎724・4236

市では、市民がいつまでも健康で安心して暮らし続けられるように、健康に関する普及啓発、生活習慣病予防、がん予防などの各対策を民間企業と協働し効果的に実施するため、11月10日に（株）伊藤園、住友生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社とそれぞれ協定を締結しました。

今後、広報啓発やイベント等へのご協力をいただき、民間企業のノウハウを活用した取り組みを実施していきます。



左から、（株）伊藤園執行役員南関東地域営業本部本部長・安藤氏、住友生命保険相互会社町田支社長・山本氏、明治安田生命保険相互会社町田支社長・西岡氏、石阪市長

町田市職員採用試験情報

☎職員課 ☎724・2518
FAX050・3085・4107

職 種	採用予定人数	日程等(予定)	採用日(予定)
任期付職員 (仮称e-まち推進担当課長)	1人	○申込書受付期間 1月4日(月)～18日(月)	2021年 4月1日
身体障がい者対象一般事務 保健師	いずれも 若干名	○電子申請受付期間 1月4日(月)午後1時～15日(金)午後1時	
保健師(社会人経験者対象)		○1次試験 1月24日(日)	

*受験資格や試験日等の詳細は「町田市職員採用試験実施要項」(町田市ホームページでダウンロード)をご確認ください。

Twitter(ツイッター)でも情報発信しています!

Twitterアカウント「町田市職員採用試験(町田市公式)」をフォローしてください。

みんなで描くまちだの未来 Vol.9

これからのみどりのある暮らし

☎公園緑地課 ☎724・4397、土地利用調整課 ☎724・4254

町田市の暮らしの良いところに関するアンケートでは、必ずといっていいほど、上位に「自然が多い」ことが挙がっており、町田の自然が暮らしに大切なものであることが分かります。市内には、大きさも特徴も異なるさまざまな公園や、住宅地内の農地が点在し、多摩丘陵の里山と呼ばれるまとまりのある自然など、多様なみどりがみんなの暮らしに寄り添っています。



市では、これらのみどりを市民みんなで守り育て、誰もが親しむことができる暮らしを目指しています。

現在、みどりの保全・活用に向けた取り組みの1つとして、町田ならではの風景となっている、住宅地内の農地・農業を身近に感じてもらう機会を創出する実験的な取

組みを始めました。農家にご協力いただき、2～3時間程度、農業に関するスキルや知識が無い方でも気軽に農作業を体験できるプログラムです。

屋外で汗をかき、地域のみどりや人とつながり、身近に農やみどりをを感じる暮らし、日常のみどりに関わる楽しさをプラスする、そんな豊かな時間を過ごすことができる暮らしもいいのではないのでしょうか。



市HP 都市づくりのマスタープラン 検索



カワセミ通信 166



町田市長 石阪丈一

紅葉も最盛期を過ぎた町田薬師池公園四季彩の杜を歩きました。薬師池にはいつものカルガモ、カイツブリに冬鳥のキンクロハジロが混じって、少しにぎやかになりました。

樹林地には、カラ類の混群が見られました。シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロにキツツキのコゲラも参加していました。この辺りでは珍しい野鳥のイカルの十数羽の群れが飛んでいました。いつものカワセミも健在です。

さて、師走の晴天の日、小山田、図師に建設中の新しい熱回収施設の現場見学をしました。2018年7月の着工以来、2年余りが過ぎ、1年後の竣工・運転テストに向けて工事が進んでいます。

ごみの焼却プラントは、現在の流動床炉方式からストーカ方式に変わります。また、バイオガスプラントを設置して、生ごみや紙ごみなどを発酵させてメタンガスを取り出し、発電を行います。更に、粗大ごみの破砕プロセスでは、金属等を回収し資源化を進めます。

これらの施設整備に要する事業費

は、約310億円にのぼります。そのうち環境省からの交付金を約93億円、地方債(借入金)を約170億円、公共施設整備基金等からの繰入金については約25億円を見込んでいます。残り約23億円に市税を充当する予定です。

11月末現在の出来高は50%ですが、整備事業の最終年度の2021年度は市税収入見込みも芳しくありません。また、この事業の事業費は2021年度が最も大きくなっていますので、環境省の交付金を始め整備財源の確保が大きな課題になっています。

引き続き、市民の皆さんの事業へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



熱回収施設の現場見学の様子

公開している会議 傍聴のご案内

会議名	日時	会場	定員	申し込み
町田市都市計画審議会	12月25日(金) 午前10時から	市庁舎3階第1委員会室	5人 (申し込み順)	事前に電話で都市政策課(☎724・4247)へ